

## 平成 30 年度研究助成募集要領

### 1 趣 旨

本財団は、数々の有用性をもつ香辛料の基礎的研究並びに関連分野に関する研究の推進を図り、我が国香辛料産業の発展ひいては国民食生活の向上に寄与することを目的として、昭和 58 年 7 月に設立されました。

平成 30 年度においては、これらの研究を行っている大学等の研究機関に対して助成を行い、研究の促進を図るとともに、新しい食文化の創造に貢献したいと考えています。

### 2 助成の対象となる研究範囲

助成の対象となる研究の範囲は、香辛料の基礎的研究並びに香辛料の原材料や応用などの関連分野に関する研究とします。

### 3 助成の対象者

助成の対象者は、原則として、2 に掲げる研究範囲の研究を行うグループ又は単独（個人）とします。

### 4 助成金交付要件

- (1) 助成金の交付により研究の促進が期待できるものであること。
- (2) 助成金を必要とする研究の計画と費用に合理性があること。
- (3) 財団に報告された研究の経過及びその結果については、公表できるものとする。
- (4) 本財団所定の交付申請書（別紙 1）に基づく申請であること。

この場合、申請書には、助成を希望する研究課題、研究組織、研究計画及び研究経費等必要事項が明示されていること。

### 5 助成額

助成額は、1 件当たり 100 万円を基準とし、研究計画等を審査して、本財団が決定します。

### 6 研究期間

平成 30 年 10 月 1 日から平成 31 年 9 月 30 日の 1 年間

## 7 申請書の提出期限

本財団所定の申請書に必要事項を記入の上、平成30年5月末日までに財団理事長あてに提出して下さい。

## 8 選考及び決定通知

本財団の選考手続きを経て採用された場合には、その結果と助成金額を理事長名の文書で通知します。

## 9 助成金の交付

助成金は、交付決定通知後、研究の実施に支障のないよう、可能な限り速やかに交付します。

## 10 報告

研究期間終了後原則として30日以内に次の報告書等を各1部財団に提出していただきます。

- ①研究の経過とその結果を記載した「研究報告書」
- ②研究成果に対する進捗とその発展性などを記載した「研究成果普及計画書」
- ③助成金の収支を記載した「助成金収支報告書」

※②の「研究成果普及計画書」は当財団のホームページに掲載いたします。

なお、研究報告書等の提出が理由なく大幅に遅延した場合及び申請書の内容と乖離している場合並びに不適切な会計処理等が認められた場合は、助成金の一部又は全部の返還を求めることがあります。

また、当財団が主催する研究報告会等に参加していただく場合もあります。

## 11 申請書提出先

申請書は、下記へご送付下さい。

〒174-0054 東京都板橋区宮本町38-8  
公益財団法人山崎香辛料振興財団  
理事長 山崎明裕

(連絡先) 常務理事 和田 司

TEL03-3969-7023 FAX03-3558-2300

E-mail : tsukasa\_wada@sbfoods.co.jp

URL : <http://yamazakispice-promotionfdn.jp>

公益財団法人山崎香辛料振興財団

平成 30 年度研究助成申請書記載要領

1 一般注意事項

- (1) 申請書は、当財団所定の用紙（別紙 1（4 葉 1 組））を用い、1 件につき 1 通を財団へご送付下さい。
- (2) 文字は、12 ポイントで記入して下さい。
- (3) 各欄とも、できるだけ簡潔に記載して下さい。記入事項が各欄に収まらないときは、欄を縦方向に拡大して記入して下さい。
- (4) 申請書の書類は、お返しいたしませんのでご了承下さい。

2 申請書項目別留意事項

- (1) 「研究課題」は、次の研究領域とし、その題名は、研究内容が具体的に表現されていることが望まれます。
  - ① 香辛料に関する農学、農芸化学、理学、家政学、生理学、医学又は薬学等各部門に係る自然科学分野の研究領域
  - ② 香辛料に関する社会科学分野の研究領域
  - ③ 香辛料に関する原材料部門、応用部門、総合部門の研究領域
  - ④ その他、助成の趣旨に照らして必要と認められる事項に係る研究領域
- (2) 「代表研究者」は、研究機関に所属する者で、研究の推進、取りまとめ等中心的な役割を果たす責任者とします。  
なお、単独（個人）で行う研究の場合は、当該研究者を代表研究者とします。
- (3) 「代表研究者の略歴」は、学歴、職歴等の概要を簡条書きで記載し、学位を有する場合は、その取得した大学及び年月日も記載して下さい。

- (4) 「研究目的」は、本申請課題の研究を行おうとするに至った理由、本研究助成で明確にしたい点、研究のねらい及び特徴点等を具体的に記載して下さい。
- (5) 「研究組織」について、その役割分担が明確でない場合は、共同と記載して下さい。  
なお、大学院博士課程の学生は、研究分担者となることはできますが、修士課程及び学部の学生は、研究分担者とすることはできません。
- (6) 「研究計画及び方法」は、本研究の実施計画、研究手法等について、具体的に記載して下さい。
- (7) 「助成金申請額」は、11の「研究経費」の「うち助成金」の金額を記載して下さい。
- (8) 「代表研究者所属機関長推薦書」の推薦者は、機関の最高責任者又はそれに準ずる資格を有する者とし、大学等の場合は学部長以上とします。
- (9) 「今までの研究経過又は準備状況」は、研究課題の内容との連続性を中心として記載して下さい。この場合、今までの研究経過において、その成果が学会誌等に発表されている場合は、その学会誌名、巻号、論文題目等も併せて記載して下さい。
- (10) 「本研究の特徴点」は、本研究の特徴点、予想される成果等について記載して下さい。
- (11) 「研究経費」は、次により記載して下さい。
- ① 「設備備品費」の助成金申請額が助成金申請総額の50%を超える場合には、「その他特記すべき事項」欄にその理由を明示して下さい。また、設備備品費の1点の金額が50%を超える場合は、当該備品の見積書と、でき得ればカタログを申請書に添えて提出して下さい。
  - ② 「消耗品費」は、実験用動物、ガラス器具、試薬類等に種別して記載して下さい。

- ③「旅費」は、内訳欄に資料収集、研究打ち合わせ等に種別して記載して下さい。
- ④「謝金」は、実験補助、調査補助、資料提供、資料収集整理に種別し、それ以外は、「その他」として記載して下さい。
- ⑤「その他」は、写真現像費、計算機使用料、印刷費、会合費等に種別して記載して下さい。
- (12)「研究課題に関する国内、国外における研究状況」は、直接関連の深いものに焦点をしばって記載して下さい。
- (13)「研究課題の今後における研究計画」は、申請研究課題の研究計画が多年に亘る場合には、今後における研究計画を記載するとともに、これとの関連において、本研究の位置付けが明確になるよう記述して下さい。
- (14)「過去5年間の業績」は、代表研究者の過去5年間における本申請書の研究に関係した代表的な研究について、その成果を学界誌等に発表したものがある場合は、著者名、誌名、巻号、論文題目等を記載して下さい。また、代表研究者名にアンダーラインを付して下さい。
- (15)「同一研究課題に関しての他機関への申請状況」は、本年度において、申請研究課題と同一課題について、政府機関又は他の財団等に対し助成申請を行っているか又は予定している場合は、申請先、研究課題、研究内容等について記載して下さい。  
また、申請課題と関連の深いものについて、助成申請を行っているか又は予定している場合も、申請先、研究課題、研究内容等について記載して下さい。
- (16)「本研究のキーワード」は、本研究に関するキーワードを5つ以内で記入してください。
- (17)「その他特記すべき事項」は、特記すべき事項や強調したいこと等がある場合に記載して下さい。